

平成 23 年度事業計画書

概要

(社)全日本児童舞踊協会(以下児舞協という)では、公益法人となる準備をすすめている。

併し、課題が多いが、前年度より一歩進んでいる状況にある。

ただ、経理上の諸問題、4 大事業の課題、会員確保と拡大等が存在している。

特に基本的な課題は、会員の拡大と経営の健全化である。

現在の社会情勢は昨年より悪化の方向に向かっており、この情勢に対応する力を会員が備えなければならない。

更に対外的な諸問題を解決して、児童舞踊を発展させることを会員が意識して欲しい。

以下、各担当事業について述べる。

1. 公益法人の認定に関する準備

- (1) 関連規程の改訂
- (2) 会員に対する啓蒙活動
- (3) 上記以外の関連作業

2. 会員の獲得

- (1) 会員及び特別会員の確保のための施策及び実行

3. (社)全日本児童舞踊協会総会及び理事会の開催

- (1) 第 1 回通常総会の開催 平成 23 年 6 月 12 日(日)
- (2) 第 2 回通常総会の開催 平成 24 年 3 月 予定
- (3) 常務理事会及び理事会の開催 随時
- (4) 監査会

4. 児童舞踊家の技術向上のための研修

児童舞踊家の技術及び幼児、児童の心理等の基礎学問の習得のために、講演、技術研修等を実施する。

- (1) 舞踊学の研修会の開催 3 回
- (2) 学校教育及び幼児教育における舞踊の在り方を学ぶ研究会の開催 随時
- (3) その他

5. 舞踊公演等の開催

舞踊公演を下記のように開催する。

- (1) 第 58 回 児童舞踊合同公演(東京新聞主催・本協会協賛)
平成 23 年 7 月 10 日(日) メルパルクホール
- (2) 第 56 回 児童舞踊公演 ドリームステップ

- 平成 23 年 8 月 18 日 (木) ティアラこうとう
- (3) 第 41 回 創作舞踊公演
- 平成 23 年 8 月 19 日 (金) ティアラこうとう
- (4) 第 59 回 クリスマスこども舞踊の会
- 平成 23 年 11 月 27 日 (日) 日本橋 三越劇場
- (5) 全日本舞踊連合創立 35 周年記念合同公演 (全舞連主催)
- 平成 23 年 6 月 4 日 (土) 浅草公会堂

6. 機関紙の発行

機関紙を次のように発行する。

- (1) 全日本児童舞踊協会広報誌 (ぽるか) 3 回発行
- (2) ホームページの開示

7. 国際部の事業

情報収集の活動を継続する。

- (1) 2012 年の daCi (子どものダンス国際会議) に於いて、期間中の午前 2 コマでワークショップ、パフォーマンスをすることとなっている。その準備のため、国内で広く、ワークショップを行う
- (2) 国際情報を集める

8. 資料及び文献の収集、保存

資料及び文献の収集、保存については、下記のような事業を実施する。

- (1) 児童舞踊に関する調査、研究等について
 - ① 協会の記録の続行
 - ② 児童舞踊先覚者・舞踊研究者の研究、資料収集の続行
 - ③ 同上の文献・資料の整備、保管

9. 児童舞踊家の顕彰

児童舞踊家の顕彰については、下記のような事業を実施する。

- (1) 特別賞 活発な舞踊活動、優秀な作品を発表した個人または団体に対して
- (2) 功労賞 協会の発展に寄与、業務への貢献に対して
- (3) 奨励賞 意欲的な舞踊活動、協会業務への協力に対して

10. その他目的を達成するために必要な事業

その他目的を達成するために必要と思われる事業を実施する。

- (1) 全日本舞踊連合発行の舞踊年鑑へ資料提供
- (2) 日本芸能実演家団体協議会、全日本舞踊連合との提携
- (3) 表彰
 - ① 当協会会員が指導する生徒を対象
 - ② 当協会が関与する全国舞踊コンクール入賞者を対象
 - ③ その他